

第2回総合計画審議会（令和6年12月3日開催）までの意見と対応方針について

① ビジョン全般に関すること

意 見	ビジョン	アクション プラン	分野別 計画等	対応方針（該当ページ等）
ビジョン全体の振り返りを踏まえて、骨子案を議論する必要がある。	○			P. 3～4、P. 6～15 ・「これまでの取組と成果」 ・「ひろしまビジョン策定後に顕在化した、特に考慮が必要な情勢変化」
全体のアーキテクチャを整理し、課題の解決に向けて、どのような施策が必要か、また、施策間の連動の仕組みが必要である。	○		○	・ビジョン改定素案で反映（「今後5年間で特に注力する重点項目」、「施策領域」） ・取組の方向単位でターゲットを設定し、課題や取組などを整理
領域ごとではなく、複合的な課題を解決することが必要である。その解決方針のまとめ方に「広島県らしさ」が表現できると良い。	○			P. 16～17、P. 27～28 ・「目指す姿の実現に向けた今後5年間の方向性の設定（シン・ファミリーフレンドリー）」 ・「今後5年間で特に注力する重点項目の設定」
ビジョンの全体像にストーリー性を持たせる必要がある。	○			P. 16～26 ・「目指す姿の実現に向けた今後5年間の方向性の設定（シン・ファミリーフレンドリー）」 ・「目指す姿の実現に向けた施策の考え方と5つの柱」 ・「目指す姿の実現に向けた施策の柱ごとの見直し」

意 見	ビジョン	アクション プラン	分野別 計画等	対応方針（該当ページ等）
広島で暮らすことや仕事をするのがわかりやすくイメージでき、広島で挑戦したいと思わせるような総合計画となれば良い。また、県が何をしようとしていて、個人や企業に対してどういうことを期待するのか見える化できると良い。	○			P. 16～17、P. 27～28 ・「目指す姿の実現に向けた今後 5 年間の方向性の設定（シン・ファミリーフレンドリー）」 ・「今後 5 年間で特に注力する重点項目の設定」
インパクトとパフォーマンス、ダイナミックという、この 3 つのキーワードで広島らしい施策をできないか。	○			P. 16～17、P. 27～28 ・「目指す姿の実現に向けた今後 5 年間の方向性の設定（シン・ファミリーフレンドリー）」 ・「今後 5 年間で特に注力する重点項目の設定」
総合計画は文字の羅列となっており、一見バラバラのように見えるけど、紐付けていくことによって、1 つの何か良いキャッチフレーズやキーワードが生まれるのではないかな。	○			P. 16～17 ・「目指す姿の実現に向けた今後 5 年間の方向性の設定（シン・ファミリーフレンドリー）」
誰にどんなメッセージを届けるのが大事である。	○			P. 16～17、P. 27～28 ・「目指す姿の実現に向けた今後 5 年間の方向性の設定（シン・ファミリーフレンドリー）」 ・「今後 5 年間で特に注力する重点項目の設定」
個人にフォーカスしたストーリーを描くことによって、広島県が目指している姿を示すことができるのではないかな。				・ビジョン改定素案で検討（「目指す姿の実現に向けた今後 5 年間の方向性の設定（シン・ファミリーフレンドリー）」、「今後 5 年間で特に注力する重点項目」）

意 見	ビジョン	アクション プラン	分野別 計画等	対応方針（該当ページ等）
実現困難な指標・目標も見受けられる。指標の選び方や行政の成果として現れる指標なのかといった視点で、適切な指標・目標に見直す必要がある。	○	○		・ビジョン指標：ビジョン改定素案で反映（各施策領域）
				・K P I：アクションプランで検討
広島県は中山間や過疎地域が7割を占めているため、都市部だけを考えた支援策にならないように、総合的に考える必要がある。	○			P. 93～96 ・施策領域「中山間地域」
人口減少を踏まえると、今後、県には、市町の側面的支援だけでなく、広域調整的な役割が求められるのではないかな。	○		○	・ビジョン改定素案で反映（「行政経営の基盤づくり」）
				・分野別計画で検討（行政経営の方針）

② 施策領域に関すること

意 見	ビジョン	アクション プラン	分野別 計画等	対応方針（該当ページ等）
魅力的な公立学校が増えることで、子育てにかかる経済的な負担の軽減や共育での余裕が生まれるのではないかな。 また、教職員が、子供と向き合う時間を確保できるよう、学校の働き方改革を進める必要がある。	○		○	・魅力的な公立学校の増加：ビジョン改定素案で反映（施策領域「教育：学びの変革の推進」）
				・学校の働き方改革：分野別計画で検討（教育に関する大綱）
子供を産みたいと思えるような社会を実現するため、共育では家庭内だけでなく、社会全体で支援していく必要があることを伝え、推進していくとともに、子育てと働き方はセットで考える必要がある。	○			P. 16～17、P. 27～28、P. 45～46、P. 77～78 ・「目指す姿の実現に向けた今後5年間の方向性の設定（シン・ファミリーフレンドリー）」 ・今後5年間で特に注力する重点項目の設定「子育て応援」、「若者応援」、「女性応援」 ・施策領域「子供・子育て：子供と子育てにやさしい環境の整備」、「働き方改革・多様な主体の活躍：女性の活躍促進」
運動習慣やがん検診の受診率など、男性と比較して女性が低い理由として、女性は仕事をしながら家事をしており、男性よりも忙しいことなどが考えられる。そのため、男女共同参画社会の実現という観点も考慮して施策を推進していく必要がある。	○		○	P. 27～28、P. 55～56 ・今後5年間で特に注力する重点項目の設定「女性応援」 ・施策領域「地域共生社会：多様性を認め、それぞれの違いを尊重し合う環境づくり」
				・女性の健康づくりの推進については、社会的な課題等も踏まえ、関係局とも連携した事業の推進を検討
南海トラフ地震などの自然災害や新興感染症等に備え、病院における事業継続計画（BCP）の策定率を高めていくためには、人的資源や設備整備など病院の実態を踏まえた支援が必要である。	○			・ビジョン改定素案で反映（施策領域（「医療・介護：災害や新興感染症等の発生時における体制の強化」）

意 見	ビジョン	アクション プラン	分野別 計画等	対応方針（該当ページ等）
介護業界における生産性向上の伸びしろは大きく、介護需要の増加に対しては、D Xの推進により業務の効率化や負担軽減などに取り組むべきではないか。	○			P. 11～12、P. 39、P. 53～54 ・ひろしまビジョン策定後に顕在化した、特に考慮が必要な情勢変化「急速に革新・普及が進むデジタル技術と関連産業の発展」 ・施策を貫く3つの視点「経済成長と人口減少社会の課題解決を目指すD Xの推進」 ・施策領域「医療・介護：福祉・介護人材の確保・育成・定着及び生産性の向上」
外国人労働者は増加傾向にあり、育成就労制度の創設などにより更なる増加が見込まれる一方で、賃金の高い大都市圏への人材流出が懸念されるなど高度外国人材や実習生の獲得は厳しいことが予測される。そのため、外国人から「選ばれる広島県」の実現に向けた施策が必要である。	○			P. 10～11、P. 27～28 ・ひろしまビジョン策定後に顕在化した、特に考慮が必要な情勢変化「急増する県内の外国人労働者や観光客、緊迫化する国際情勢」 ・今後5年間で特に注力する重点項目の設定「外国人応援」 ・外国人の生活面及び就労面での環境整備：ビジョン改定素案で反映（施策領域「地域共生社会：外国人が安心して生活できる環境整備」、「働き方改革・多様な主体の活躍：外国人が円滑かつ適切に就労し、安心して生活できる環境整備」）
災害発生時に、県民を安心させるためには、自治体における準備状況を可視化し、積極的に情報開示していく必要がある。	○			・ビジョン改定素案で反映（施策領域「防災・減災：大規模災害等への初動・応急対応の強化」）

意 見	ビジョン	アクション プラン	分野別 計画等	対応方針（該当ページ等）
安全・安心の1つのベースとして、地域でのつながりは欠かせない。近所でつながらなくても、誰かとつながることで、セーフティネットが確保できるため、県として仕組みづくりに取り組むことも1つの解決策ではないか。			○	・分野別計画で検討（「減らそう犯罪」ひろしまアクション・プラン）
家庭や職場などにおいて、性別役割分担意識をなくしていく必要がある。職場においてはそういった意識などから男女の賃金格差が依然として存在している。男性も女性も制約なく職や働き方を選べるようにならないといけない。	○			P. 16～17、P. 27～28、P. 45～46、P. 55～56 ・「目指す姿の実現に向けた今後5年間の方向性の設定（シン・ファミリーフレンドリー）」 ・今後5年間で特に注力する重点項目の設定「子育て応援」、「若者応援」、「女性応援」 ・施策領域「子供・子育て：子供と子育てにやさしい環境の整備」、「地域共生社会：多様性を認め、それぞれの違いを尊重し合う環境づくり」 ・ビジョン改定素案で反映（施策領域、「働き方改革・多様な主体の活躍：女性の活躍促進」）
新型コロナなどを契機にテレワークが定着していることなどを踏まえ、民間企業のデジタル化に向けた支援を行うなど、DXを推進していく必要がある。	○			P. 11～12、P. 39 ・ひろしまビジョン策定後に顕在化した、特に考慮が必要な情勢変化「急速に革新・普及が進むデジタル技術と関連産業の発展」 ・施策を貫く3つの視点「経済成長と人口減少社会の課題解決を目指すDXの推進」 ・ビジョン改定素案で反映（施策領域「産業イノベーション：中小企業・小規模企業の経営改善による生産性の向上」）

意 見	ビジョン	アクション プラン	分野別 計画等	対応方針（該当ページ等）
原材料・物流価格の高騰などの影響を踏まえた中小企業への支援については、カーボンニュートラルの取組に逆行しないよう、県として、グランドデザインを描いた取組が重要になってくる。	○			P. 65～66 ・施策領域「環境：ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けた地球温暖化対策の推進」 ・ビジョン改定素案で反映（施策領域「産業イノベーション：基幹産業であるものづくり産業の更なる進化」）
産業面から広島独自の課題や全国共通で抱えている課題をポジティブに表現し、課題解決を後押しすることで、広島でチャレンジしたい人や企業が集まり、イノベーションが生まれるという好循環を創り出すことができるのではないか。	○			P. 81～82 ・施策領域「産業イノベーション：イノベーション環境の整備」
若い世代の価値観などを踏まえ、A Iなどのデジタル技術を活用したスマート化や大規模経営など農業が魅力的かつ儲かる産業になることが必要ではないか。	○			P. 11～12、P. 39、P. 85～86 ・ひろしまビジョン策定後に顕在化した、特に考慮が必要な情勢変化「急速に革新・普及が進むデジタル技術と関連産業の発展」 ・施策を貫く3つの視点「経済成長と人口減少社会の課題解決を目指すDXの推進」 ・施策領域「農林水産業：担い手の経営発展に向けた生産性の向上、担い手への農地集積と基盤整備・保全管理」
広島県の多様な農林水産物のブランディングに当たっては、生産すれば儲かる構造となるように、地域単位、地域よりも小さい単位など、ブランディングに取り組む地域を適切に設定することや、ブランド価値を維持するための生産量の調整を行うなど、戦略的に取り組んでいく必要がある。	○			・ビジョン改定素案で反映（施策領域「農林水産業：持続可能な広島和牛生産体制の構築、持続可能なかき生産出荷体制の再構築、瀬戸内さかなの安定供給体制の構築」、「観光：「おいしい！広島」の推進」）

意 見	ビジョン	アクション プラン	分野別 計画等	対応方針（該当ページ等）
持続可能という観点から、新たな課題の発生に対して対応できるよう、地域を支える人材を育成するための仕組みや育成するための支援が必要である。	○			P. 41、P. 93～94 ・施策を貫く3つの視点「生涯にわたって自己の能力と可能性を最大限に高める人材育成」 ・施策領域「中山間地域：地域を支える人材の確保・育成」
A Iなどのデジタル技術の発展により、観光客と地元のコミュニケーションの減少やモノ消費からコト消費の更なる強まりなどを踏まえて、外国人観光客をおもてなしする人材の育成などにも取り組んでいく必要がある。	○			・ビジョン改定素案で反映（施策領域「観光：3つの柱（「ブランド価値の向上につながる魅力づくり」「誰もが快適かつ安心して楽しめる受入環境整備」「広島ファンの増加」を支える土台づくり）」）
持続可能な観光の推進が求められており、その実現に向けた県内各地域等の取組を支援する必要があるのではないか。	○			P. 69～70 ・施策領域「観光：ブランド価値の向上につながる魅力づくり」
スポーツには欠かせないプロダクトを作っている企業を発信するなど、スポーツを更に盛り上げていく必要があるのではないか。			○	・スポーツ関係事業において検討
神楽などの文化芸術について、何のために取り組むのか整理する必要がある。力の入れ方によって方向性は変わってくるのではないか。	○			P. 73～74 ・施策領域「スポーツ・文化：文化芸術を楽しめる機会の充実と魅力発信」
ビジョン指標が「核兵器廃絶に向けた国際的な合意形成」であれば、実際に合意形成を担っていくような少数精鋭の育成、国際的な問題に関わっていく人材育成に資源を投入していくことも必要である。	○			P. 75～76 ・施策領域「平和：広島が有する経験や資源を生かした次世代平和人材の育成」
広島空港の利便性をさらに高めるためには、特区を活用したライドシェア型の交通網の整備などを検討する必要があるのではないか。			○	・国の動向等を踏まえながら、空港アクセスの拡充において検討
中山間地域などにおける交通空白地域の移動手段を確保するためには、白タクを解禁するような社会実験としての取組を進めてはどうか。	○			P. 95～96 ・施策領域「中山間地域：暮らしを支える生活交通の確保」